

海外巡回健康相談 – フィリピン、マニラ (2018/6/28-7/2)

1) マニラの巡回健康相談を実施(6/28-7/2)

2018年度の海外巡回健康相談の第一弾は昨年と同じくフィリピンのマニラ。6月29日 オイスクマニラ日本語幼稚園で一斉歯科健診と神山先生による保護者講話会を実施。また、在フィリピン日本大使館附属マニラ日本人学校では、小学3年生と5年生の保健授業で「歯みがき教室」を実施。6月30日、7月1日はマニラ日本人会で歯科相談会、そして7月2日はKelly Primary School(ケリー幼稚園)で一斉歯科健診を実施した。



【フィリピン巡回実績】

都市	場所	スケジュール	医師	参加者数
マニラ	オイスクマニラ日本語幼稚園 (6/29)	歯科一斉健診	田中先生、神山先生	55
		保護者懇話会	神山先生	(22)
	マニラ日本人学校 (6/29)	保健授業(小3、小5)	田中先生 (補助:神山先生)	(118)
	マニラ日本人会 (6/30, 7/1)	歯科相談会	田中先生、神山先生	76
	Kelly Primary School (7/2)	歯科一斉健診	田中先生、神山先生	96

参加者合計 227名

2) オイスクマニラ日本語幼稚園 歯科健診・保護者講話会

- ・ 田中先生、神山先生がオイスクマニラ日本語幼稚園(園長 武田紀之先生)で一斉歯科健診をおこなった。
- ・ 受入れと準備は教務主任の小林先生と事務の福田先生が今年もご担当くださった。
- ・ 健診の後は、神山先生が保護者と懇話会を開催し、「子どもたちの歯と健康のための食事」について話された。



神山先生の保護者懇話会

田中先生(左)と教務主任の小林先生

3) マニラ日本人学校 歯みがき教室

- ・ マニラ日本人学校(MJS)の3年生と5年生の保健の授業で田中先生の『歯みがき教室』を実施。
- ・ 今年のテーマは、3年生が「歯の大切さ・咬むことの大切さを理解しよう」、5年生が「虫歯菌を見てみよう」。
- ・ 今年も圧力測定器を持参、いろいろな食べ物をかむ時、口を開く時に、どのくらいの力がかかるかを測定(3年生)。また、唾液の中に虫歯菌がどのくらいいるかわかる溶液で生徒全員の唾液をチェック(5年生)。
- ・ 今年も尾形校長先生が授業に参加、田中先生からのご指名で実験に加わった。



5年生の保健授業



3年生の保健授業



尾形校長先生も実験に参加いただきました

写真上: 右から、日本人会診療所 菊地先生、田中先生、神山先生、尾形校長先生、今西教頭先生、安保(JOMF)

4) マニラ日本人会 歯科相談会

- ・6月30日(土)と7月1日(日)で相談会を実施。田中先生は2006年から12回目、神山先生は3年連続の参加となった。
- ・マニラでの歯科相談会はJOMFの派遣医師、菊地先生のいる日本人会診療所の階下にあるマニラ日本人会(清水会長)の会議室でおこなわれた。
- ・相談会を担当くださったのは、マニラ日本人会診療所の井上事務長と直鳥さん。



受付では直鳥さんのお子さんが大活躍



会場はマニラ日本人会事務所



今年も歯垢がピンクに光る“プラーク・ライト”を販売

5) ケリー幼稚園 歯科健診

- ・今年も昨年からはじめたケリー幼稚園(Kelly Primary School)で2度目の歯科健診を実施した。
- ・健診は、幼稚園の先生方や、ボランティアのお母様方にご協力いただき実施された。
- ・ケリー幼稚園は、近年日本人が多く住むボニファシオ地区にあり、日本人クラスのほかに、インターナショナルクラス、アフタースクール・プレスクールのクラスがある。



6) 巡回医師プロフィール

【田中健一 先生】

東京医科歯科大学歯学部 卒業
 国際協力事業団(JICA) 派遣専門家(ブラジル)
 1999年 北京天衛診療所 医療顧問
 2004年 西埼玉中央病院 勤務
 官民協働ネットワーク crossover21スタッフ
 2011 東北復興プロジェクト 埼玉医療チーム代表
 2014 国際連帯税フォーラムメンバー



【神山美穂 先生】

東京医科歯科大学歯学部卒業
 医療法人社団 天龍人会 なかむら歯科 勤務
 東京医科歯科大学大学院[専門分野—入れ歯]卒業
 東京医科歯科大学臨床准教授[専門分野—顎関節]
 [現職]
 医療法人社団天龍人会 なかむら歯科 歯科医師
 日本補綴学会専門医
 日本アンチエイジング歯科学会認定医

7) マニラ医療事情

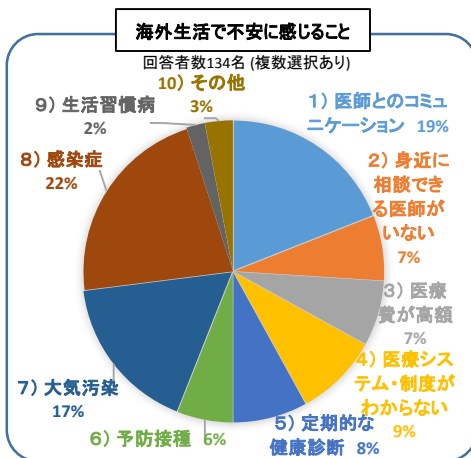
相談会に参加された方々へ現地の医療事情についてアンケートを実施。

86%(134名)の人が医療面に不安があると回答し、14%(21名)が不安は無いと回答した。

医療に関する不安要因のベスト5は;

- ①感染症(22%)
- ②医師とのコミュニケーション(19%)
- ③大気汚染(17%)
- ④医療システム・制度がわからない(9%)
- ⑤定期的な健康診断(8%)

となった。



JOMFの医療支援活動

JOMFは、海外に在留している日本人を医療面でサポートするために1984年に創設され、現在は海外で2か所に日本人常駐医師を派遣している。また、その他の地域には、2001年から専門科目の日本人医師を派遣して、海外巡回健康相談を行っている。国内では、海外赴任中の日本人からの電話・メール・掲示板による医療相談を受けたり、会員企業や産業医をサポートする講演会、セミナー等を開催している。

JOMFの事業内容—海外専門科目医療相談:
<http://www.jomf.or.jp/about/jigyuu/special.htm>